

R7 年度 心身に障害のある小児と家族の看護 試験 (櫻木先生)

19

I 次の文章中の()内に当てはまる言葉を下のア～オの中から選び記入して下さい

1. 呼吸障害の種類には閉塞性呼吸障害と拘束性呼吸障害があるが、拘束性呼吸障害は

①(イ) ②(ウ) ③(エ) 等がある

ア：舌根沈下 イ：脊柱や胸郭の変形 ウ：肺の柔軟性の低下
エ：呼吸筋活動の異常 オ：分泌物貯留

※順不動可 ①②③各1点/計3点

II 次の文章が正しければ○、間違っていれば×を()内に記入して下さい

- 1・重症心身障害児(者)とは身体障害、知的障害が重複し、かつ、それぞれの障害が重度である児童及び18歳以上の者をいう (~~×~~)
- 2・脳性麻痺の原因では脳形成異常、脳血管障害などの出生前要因より、新生児髄膜炎や脳血栓症などの出生後要因が多い (~~×~~)
- 3・腹臥位姿勢は胸郭や肺が広がりやすく、痰や誤嚥物が肺下葉にたまるのを防ぐ利点があるのでモニターを装着し観察する必要はない (~~×~~)
- 4・ポジショニングは、解剖学的、運動学的に正しい姿勢を保つことが安楽につながるとはかぎらない (~~×~~)
- 5・摂食嚥下のメカニズムは 先行期⇒準備期⇒口腔期⇒咽頭期⇒食道期ですが、準備期は食べるペースを作ったり、食べやすい量やスピードを判断する時期である (~~○~~)
- 6・栄養管理のポイントは摂食嚥下障害による栄養摂取量の不足と、誤嚥防止のため食事形態を工夫する必要がある (~~○~~)
- 7・てんかんと日常生活では発作を予防するため厳重な活動制限や保護が必要である (~~×~~)
- 8・重症心身障害の合併症の相互関係、悪循環で周囲の人とのコミュニケーションが成立しにくいなどの心理的ストレスは合併症悪循環の契機となる (~~○~~)
- 9・社会資源の活用では母親の孤立を避ける、幼児期から通園施設などにおける早期療育や訓練が重要である (~~○~~)
- 10・気管切開の日常ケアは、気管カニューレの抜管や閉塞などによる窒息に注意する必要がある (~~○~~)
- 11・重症心身障害児のバイタルサイン測定は、刺激に緊張してもそのまま測定を続ける (~~×~~)

-6

2点×11問/合計22点